

北海道山紀行 2010 行動日誌

序章

- ・今年もまた北海道山紀行の時期がやってきました。
- ・昨年は寒くて雨の多い異常気象の北海道でした。寒い大雪山トムラウシでは大勢のツアー登山客が凍死するという大事故も発生しました。あまりにも天候不順のため私も途中で切り上げて帰ってきてしまいました。
- ・今年はそのリベンジも兼ね、また6月末には花が終わってしまうユウバリソウを見るために、夕張林道のゲートが開く6月20日にあわせて計画を立てました。
- ・「北海道には梅雨が無い」と言われますが、土地の人が言うには「北海道には蝦夷梅雨」というのがあって、本州と同じように7月は天気が良くないそうです。6月は比較的天候が安定して晴天が続きますが、7月は天候が不安定になり曇や雨の日が多くなるそうです。
- ・今年もまさにその通りで、6月中は快晴が続いて登頂を稼ぎましたが、7月に入ってから晴れても二日と続くことはなくなりました。毎日天気予報を見ながら、晴れ間があるところを探して走り回りました。おかげさまで今年の山は、登ってみると殆どが晴天に恵まれ予定した以上の山を登ることが出来ました。

車の準備

- ・車の改造も、昨年ではほぼ完成した形になっており、殆ど昨年と同じ仕様にしたので、あまり苦勞することも無く完成しました。昨年は右サイドの天井に設置した棚を今年は後の天井に位置を変えたので、いろいろな面で使い易くなり居住性も向上しました。食糧や調理器具を、後のドアを開けないと使えない引き出しに入れたのが不便だったので、次回には後の引き出しには衣類を入れ、食糧や調理器具は車内の引き出しにしまえるようにしたいと考えています。



昨年は右サイドに付けた棚を



今年は後に持ってきました。

宿泊地

・昨年と同様今年も基本的に道の駅を利用しました。車中ではなく屋根の下で泊まったのは、トムラウシ山下山後に東大雪荘で疲れを癒したのと、毎年泊まっている層雲峡ユースホテルで一人で古希の祝いをしたのと、これも毎年泊まっている吹上温泉の白銀荘を基地にして十勝岳などに登ったのと、今年の山紀行の完結を祝って松前のちょっと良い旅館でちょっと贅沢をした4ヶ所でした。

昨年も登ったけれど、開花に間に合わなかった夕張岳、天気が良くなかった天塩岳を今年も再度登りました。昨年はどちらも登山口まで入ってそこで車中泊しましたが、今年は安全性や利便性の点から最寄の道の駅に車中泊して早朝登山口へ出かけることにしました。

・道の駅には南は沖縄、北は東北さらには地元の北海道も加わり日本各地から車中泊で北海道を回っている人たちが集まっていて、いろいろな情報の交換や、四方山話に花が咲いたりして大変楽しいところです。殆どが仕事を終えて時間的に余裕がある中高年の方たちで、暑い本州から涼しい北海道へ逃げてきて、山に登ったり、釣をしたり、温泉回りをしたり、観光をしたり、思い思いに楽しみながら一夏を北海道で過ごしているご夫婦で、私のように一人で回っている人も結構います。

・海のそばの道の駅には釣をして回っている人が多く、一昨年は羅臼で鮭を、昨年は礼文でホッケをいただき、今年は恵山でアイナメをいただいた。



今年アイナメの煮つけを、ヒジキの煮物付きでいただいた

登った山と回ったルート

・今年は今までで一番長期間、まるまる一ヶ月北海道を回りましたので、今までで一番多い18山も登りました。はじめて道南にまで足を伸ばし念願の狩場山、大千軒岳へも登りました。天候が不安定なため、晴れているところを探して回ったので、当初の計画を全く無視したメチャクチャなルートとなりました。そのため当初計画した増毛地方の暑寒別岳、小金山や芦別岳などは割愛し、計画に無かった西別岳やイワオヌプリ、恵山などごくマイナーな山を登ってきました。

・登った山と走り回ったルートは巻末に添付します。

出発

● さあ出発だ。

今年はユウバリソウを見るために、開花している6月中には夕張岳へ登らなければならない。ということで昨年より一週間早い6月19日に出発と決めた。

● 6月19日(土) 晴 自宅から新潟へ

・今日はサッカーワールドカップの8強に残った日本と強豪オランダとの試合が夜行われた。非常に良い試合をして1:0で惜敗した。試合終了を待って、悔しい思いを抱きながら夜10時半に愛車RAV4に乗って朋子に見送られながら新潟に向けて家を後にした。

● 6月20日(日) 晴 フェリー

・相模湖ICから高速に乗って圏央道の狭山SAで一休み。新潟まで十分余裕の時間を取るので、関越道では時速80kmの定速走行、左端の走行車線をゆっくり走る。真夜中の運転はやはり眠気が襲う。眠くなったらすぐにSAに入って仮眠を取る。上里SAは真夜中の1時。石打SAを出て少し走るとそろそろ東の空が明るくなってきた。栄SA、黒崎SAと休み休みゆっくり走り、新潟亀田ICをほぼ予定通り6時過ぎに降りてフェリーターミナルへ向かった。6時半にフェリーターミナルに着いたがすでに10数台並んでいた。

・7時からの乗船手続きを済ませ、ターミナルのレストランで朝食をとった。ここから乗船して北海道へ行くのは4回目になるが、初めてレストランで食事をした。パンに卵焼とハムにキャベツのサラダそれにコーヒーで750円。なかなか良かった。

・乗船待ちの先頭車両は大阪泉からのご夫婦。屋根にはカヌーを積んでおり、いろいろ話した。カヌーもやるが、山へも登る。春夏秋冬しょっちゅう北海道で遊んでいるとのこと。大阪の金持ちだ。私の後ろの車は名古屋から来た老夫婦。NOAHで道の駅で寝泊りしながら一ヶ月ぐらい北海道を回るとのこと。こんなご夫婦がいっぱいいる。

*** 今回はパソコンに「Eモバイル」を装備してきた。乗船待ちの時間を使ってどんなものかテストしてみた。今回はうっかりして家に計画書を置いてくるのを忘れた。要するに朋子は私がどこをどう動いているのか全くわからない。これはちょっとまずいなど、Eモバイルを使って計画書を添付メールで送った。朋子はパソコンを開けないので、直人に送って朋子へファックスで転送してもらった。無事朋子へ届いたらしい。Eモバイルは使えそう。今回の北海道はメールを送受信しながら回れることが出来る。Good! ***

・9:40に乗船、S寝台(J-98)に荷物を置いてすぐに風呂へ向かった。去年は自衛隊の団体が同舟だったのでめっちゃくちゃ混んでいたが、今年はガラガラ空いていてゆっくり快適に入浴できた。

・定刻の10:30に出航。前途を祝して風呂上りのビールと小樽ワインで祝杯をあげ良い気分。「フェリー就航40周年記念のビンゴ大会を行います」とのアナウンスを聞きながら、眠りについた。

・13:30目覚めたが、悪酔いしたか少々気分が悪い。カップヌードルで軽く昼食。天気は曇っているが海は静か、小樽に向けて日本海を快走している。